

2018年12月期第2四半期 決算説明会



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

岡部グループの事業領域

多角化事業

主に、魚礁の製造販売をしています。

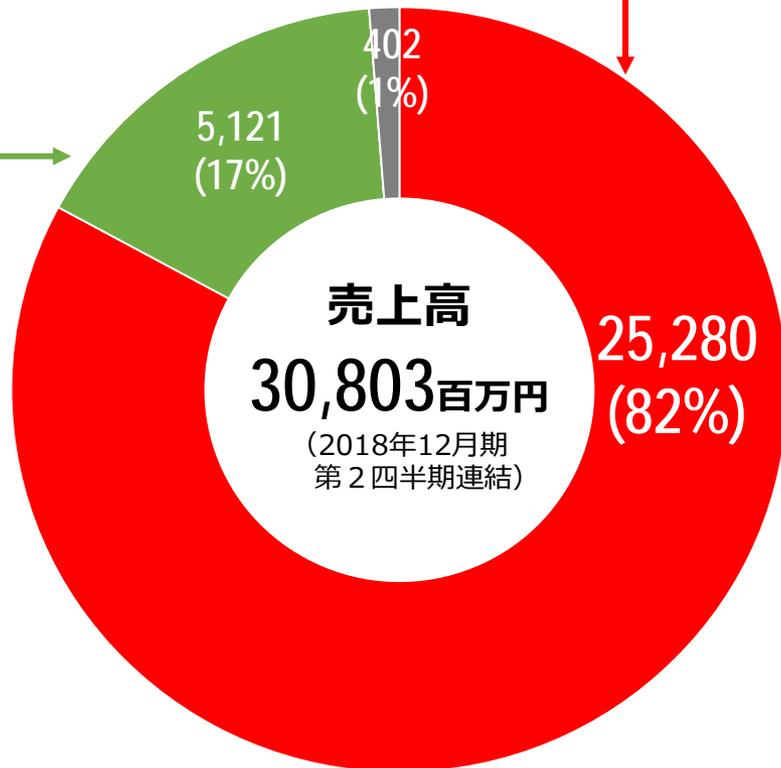
自動車関連製品事業

バッテリー端子の製造販売・トラック等向けボルト・ナットの販売を行っております。



建設関連製品事業

- 仮設・型枠製品
 - 土木製品
 - 構造機材製品
 - 建材商品（国内）
 - 建材商品（海外）
- より構成されております。



国内・海外売上比率

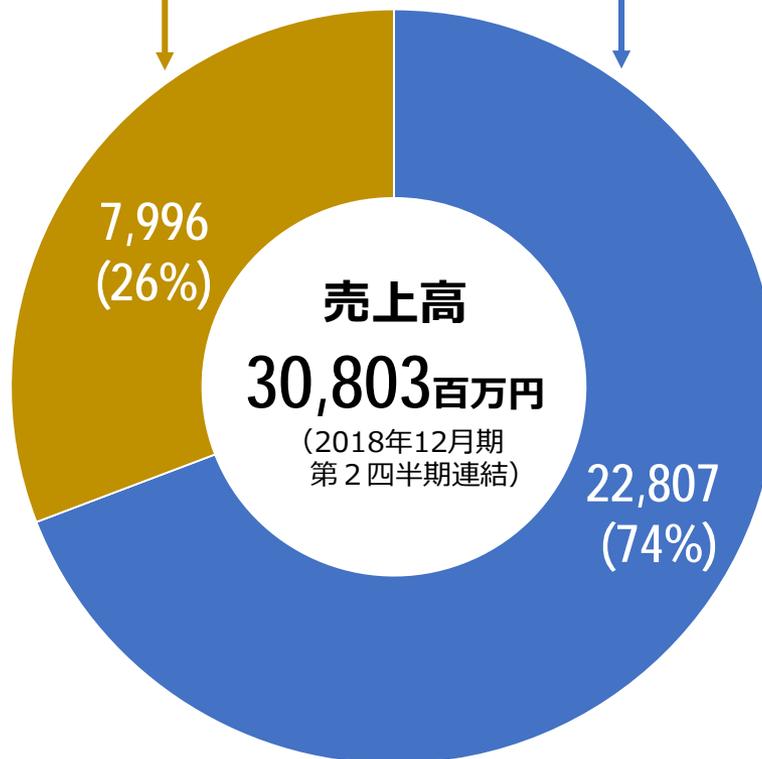
海外事業

- 建材商品販売
- 自動車関連製品事業等から構成されております。



国内事業

- 建設関連製品事業等から構成されております。



本日のアジェンダ

I. 2018年12月期 第2四半期連結業績概要

II. 2018年12月期 通期連結業績の見通し

III. Topics

- ①ベースパックの販売状況について
- ②WGXC社(中国)の清算について
- ③ESGへの取り組みについて

I. 2018年12月期 第2四半期連結業績概要

2018年第2四半期サマリー

プラス要因

建設関連製品事業

- ベースパックを中心に、構造機材製品の売上増加

建設関連製品事業 (北米)

- 販売チャネルの拡充により、OCM社の販売が引き続き伸張

自動車関連製品事業

- 欧州向けの販売が好調

マイナス要因

建設関連製品事業

- 土木製品において、前年の大型案件の受注による反動減

自動車関連製品事業

- 原材料費(鉛)の上昇による売上総利益の減少
- 機械設備の老朽化に伴う関連費用の増加

セグメント別・製品別売上高 【前年同期比】

(単位：百万円)

| | | 2017 2Q累計 | 2018 2Q累計 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|----------|--------------|--------------|-------|-------|
| 製品別 | 仮設・型枠製品 | 3,471 | 3,537 | 66 | 1.9% |
| | 土木製品 | 2,813 | 2,684 | △128 | △4.6% |
| | 構造機材製品 | 9,339 | 10,051 | 712 | 7.6% |
| | 建材商品 | 6,012 | 6,408 | 395 | 6.6% |
| | 建材商品（海外） | 2,289 | 2,598 | 309 | 13.5% |
| 建設関連製品事業 | | 23,925 | 25,280 | 1,354 | 5.7% |
| 自動車関連製品事業 | | 4,570 | 5,121 | 550 | 12.0% |
| 多角化事業 | | 360 | 402 | 41 | 11.4% |
| 合計 | | 28,857 | 30,803 | 1,946 | 6.7% |

セグメント別営業利益【前年同期比】

(単位：百万円)

| | 2017 2Q累計 | 2018 2Q累計 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|--------------|--------------|-----|--------|
| 建設関連製品事業 | 1,721 | 2,103 | 382 | 22.2% |
| 自動車関連製品事業 | 450 | 353 | △96 | △21.4% |
| 多角化事業 | △75 | △67 | 8 | — |
| 合計 | 2,095 | 2,390 | 294 | 14.0% |

連結業績概況 【前年同期比】

| (単位：百万円) | 2017 2Q累計 | 2018 2Q累計 | 増減額 | 増減率 |
|---------------------|--------------|--------------|-------|-------|
| 売上高 | 28,857 | 30,803 | 1,946 | 6.7% |
| 営業利益 | 2,095 | 2,390 | 294 | 14.0% |
| (営業利益率) | 7.3% | 7.8% | — | — |
| 経常利益 | 2,115 | 2,598 | 483 | 22.9% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,278 | 1,998 | 720 | 56.3% |

連結財務狀況 【前年同期比】

(単位：百万円)

| | 2017 期末 | 2018 2Q末 | 増減額 |
|-----------------|---------------|---------------|--------|
| 資 産 | 89,346 | 87,658 | △1,687 |
| (現 預 金) | 22,311 | 23,890 | 1,579 |
| (棚 卸 資 産) | 8,096 | 9,439 | 1,342 |
| (有 形 固 定 資 産) | 20,167 | 21,348 | 1,181 |
| 負 債 | 33,094 | 31,710 | △1,383 |
| (有 利 子 負 債) | 10,806 | 9,878 | △928 |
| 純 資 産 | 56,251 | 55,948 | △303 |
| ※自己資本比率 | 63.0% | 63.8% | |

Ⅱ. 2018年12月期 通期連結業績の見通し

2018年下期（7～12月）の外部要因見通し

プラス要因

建設関連製品事業

- 首都圏のオリンピック・パラリンピック関連工事等が順調に進捗

自動車関連製品事業

- 米国において、引き続き堅調な需要を見込む。

懸念材料

建設関連製品事業

- 全国的な着工の伸び悩みや鋼材価格のさらなる上昇

建設関連製品事業（北米）

- 米中の通商政策による、輸入コストの上昇

自動車関連製品事業

- 生産設備の老朽化に伴う修繕費の増加を見込む

アクションプラン

建設関連製品事業

- 鋼材価格上昇対策と適切な価格転嫁
- 提案型営業による高付加価値製品の拡販

自動車関連製品事業

- 老朽化した機械設備の更新を実施
- 工場全体の抜本的な見直しを含め、製造効率向上に向けた計画を策定

下期セグメント別・製品別売上高予想【7月～12月】

(単位：百万円)

| | | 2017 下期実績 | 2018 下期予想 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|----------|--------------|--------------|------|--------|
| 製品別 | 仮設・型枠製品 | 3,542 | 3,600 | 57 | 1.6% |
| | 土木製品 | 3,259 | 3,200 | △59 | △1.8% |
| | 構造機材製品 | 10,412 | 11,000 | 587 | 5.6% |
| | 建材商品 | 6,638 | 5,900 | △738 | △11.1% |
| | 建材商品（海外） | 2,625 | 2,800 | 174 | 6.6% |
| 建設関連製品事業 | | 26,478 | 26,500 | 21 | 0.1% |
| 自動車関連製品事業 | | 4,799 | 4,800 | 1 | 0.0% |
| 多角化事業 | | 781 | 896 | 114 | 14.7% |
| 合計 | | 32,059 | 32,196 | 136 | 0.4% |

下期セグメント別営業利益予想【7月～12月】

(単位：百万円)

| | 2017 下期実績 | 2018 下期予想 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|--------------|--------------|-----|-------|
| 建設関連製品事業 | 2,383 | 2,500 | 116 | 4.9% |
| 自動車関連製品事業 | 311 | 320 | 8 | 2.8% |
| 多角化事業 | 53 | 89 | 35 | 65.8% |
| 合計 | 2,749 | 2,909 | 159 | 5.8% |

下期連結業績予想【7月～12月】

(単位：百万円)

| | 2017 下期実績 | 2018 下期予想 | 増減額 | 増減率 |
|---------------------|--------------|--------------|------|--------|
| 売上高 | 32,059 | 32,196 | 136 | 0.4% |
| 営業利益 | 2,749 | 2,909 | 160 | 5.8% |
| 経常利益 | 2,952 | 2,801 | △151 | △5.1% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 2,206 | 1,701 | △505 | △22.9% |

連結業績予想 【年間】

(単位：百万円)

| | 2017 実績 | 2018 予想 | 増減額 | 増減率 |
|---------|------------|------------|-------|------|
| 売上高 | 60,917 | 63,000 | 2,082 | 3.4% |
| 営業利益 | 4,844 | 5,300 | 455 | 9.4% |
| (営業利益率) | 8.0% | 8.4% | — | — |
| 経常利益 | 5,068 | 5,400 | 331 | 6.6% |
| 当期純利益 | 3,485 | 3,700 | 214 | 6.2% |

株主還元方針 -配当政策について-

| | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 (予想) |
|----------------|--------|---------|--------|--------------|
| 1株当たり 当期純利益 | 81.62円 | 155.10円 | 69.95円 | 74.26円 |
| 1株当たり 配当金額 | 24.00円 | 24.00円 | 30.00円 | 26.00円 |
| 連結配当性向 | 29.4% | 15.5% | 42.9% | 35.0% |

※2017年の1株当たり配当金額には、記念配当の6円を含んでおります。

資産収益性について

- ・財務の健全性を維持しつつ、持続的な向上を図ります

| (単位：百万円) | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 (予想) |
|----------|--------|--------|--------|--------------|
| 当期純利益 | 4,234 | 7,861 | 3,485 | 3,700 |
| 純資産 | 47,877 | 50,003 | 53,828 | 56,232 |
| R O E | 8.8% | 15.7% | 6.5% | 6.6% |

※純資産の数字は期中平均を使用しております。

Ⅲ. Topics

- ①ベースパックの販売状況について
- ②WG C X社(中国)の清算について
- ③ESGへの取組みについて

注：WG C X社は当社子会社でありますオカベ・ホールディングUSA, Inc.の子会社である長興華泰格林金属製品有限公司の略称となります。

①ベースパックの販売状況について



● 上期(2018年1月～6月)の販売状況について

- 大型物流倉庫・ホテル等の鉄骨造の建築工事が順調に進捗した結果、ベースパック出荷数量は増加。
- 鋼材価格の上昇を受け、2018年5月に値上げを実施したことにより、販売価格が改善。

ベースパックの売上高は堅調に推移し、
構造機材製品全体の売上を押し上げ。

①ベースパッキの販売状況について



● 下期(2018年7月～12月)の販売見通しについて

- 首都圏においては、堅調な需要を見通すものの、全国的な着工量の伸び悩みを懸念。
- 鋼材価格のさらなる上昇によるコストアップや、それによる販売価格への影響を懸念。



下期の販売については、前年同期比 約5%増を見込む

•WG C X社 工場閉鎖・清算の理由

- 2013年の会社設立以来、営業損失が続く。
- 将来的に需要が見込まれる製品の製造には追加の設備投資が必要となり、黒字化の見通しが立たず。
- WG社米国工場においては、将来的に需要が見込まれる製品を現況設備で製造可能。



•今後の方針

- 中国市場における事業は継続。
- 製品はWG社米国工場より輸出して販売。

②WGCX社(中国)の清算について

・工場閉鎖と清算による今期連結業績への影響

上期(2018年1月～6月)

- 固定資産減損損失・社員解雇費用などによる
特別損失3億4千8百万円を計上済み。

下期(2018年7月～12月)

- 機械移設費用等として、約6億円の特別損失の計上
を見込むが、詳細については精査中。

②WG C X社(中国)の清算について

・工場閉鎖と清算による来期以降の連結業績への影響

- 同社の工場閉鎖および清算により、
自動車関連製品事業における来期以降の営業損益は
段階的に改善される見込み。

〈参考〉WG C X社の営業損益実績

(単位：千米ドル)

| | 2015 | 2016 | 2017 |
|------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 1,362 | 980 | 1,536 |
| 営業利益 | △1,896 | △2,041 | △2,377 |

③ ESGへの取組みについて

経営理念

「安全・安心の提供を通じて、社会に貢献する」

OKABEが創業以来守り続けた経営理念です。



OKABE 100年の歴史

これまで100年以上にわたり培ってきた技術力を活かし、世界中で、豊かな社会づくりに貢献していきます。

創業



1917

フォームタイ工法発売 省力化、高品質

現在においてもコンクリート型枠工法のデファクトスタンダードです。在来工法と比べ、省力化を図りつつ、高品質なコンクリート躯体を提供します。



フリーフレーム工法発売 緑化

斜面の緑化を可能にした、自然環境との調和を大切にしたいのり面補強工法です。



構造実験棟開設 技術開発力、人材育成

より社会に貢献する製品の開発を目指して、研究、実験を行っております。2018年には総合実験センターを茨城県下妻市に新設しました。

1993

1986

ベースパック柱脚工法発売 省力化、耐震性(安全・安心) 高品質、工期短縮

鉄骨の基礎を支え、建物の耐震性を高める工法です。



2000

海洋事業進出 海洋資源保護

海洋事業へ参入し、魚礁、藻礁の製造販売を通じて、海洋資源の保護に取り組んでおります。



2005

ブレスターZ発売 耐震性の提供(安全・安心)

木造戸建てにひとクラス上の安全性を提供する木造筋かい用接合金物です。



2014

自動車用バッテリー端子製造事業進出 環境配慮、自動車の安全性向上

建設関連製品事業を通じた金属加工の知見を活用し、自動車関連製品事業に本格参入。環境に配慮した製造方法、高品質な製品で自動車の安全性を高めるなど、環境・社会に貢献しています。



2017

創業100周年

次の100年の飛躍に向けた中期経営計画「NEXT100 ~Exciting Future~」を策定し、「安全・安心の提供を通じて、社会に貢献する」という理念を世界で実践するグローバル・メーカーを目指すための取組みを開始しております。

Since 1917



okabe
Exciting future
おかげさまで100周年

社会の課題とOKABEの事業

社会的課題

- 産業廃棄物問題
- 耐震・制震・免震への要請
- 地震国日本
- 建設現場の作業員の高齢化・人手不足
- 建物の安全・安心に対するニーズ
- 車社会による環境汚染
- 海洋汚染
- 地球温暖化



企業理念

「安全・安心の提供を通じて、社会に貢献する」

中期経営計画の推進と達成



ありたい姿

安
社
会
・
に
安
貢
心
献
の
す
提
る
供
グ
を
口
通
ー
じ
バ
ル
・
メ
ー
カ
ー

建設関連製品事業

社会への貢献

- 安全性の高い製品により災害から人命を守る
- 作業における安全の提供
- 省力化工法による工期削減
- 高品質製品の提供

環境への貢献

- フリーフレームによる緑化
- 鉄くずのスクラップ処理
- 工期削減による二酸化炭素排出量削減

自動車関連製品事業

- 高品質製品の提供による車の安全
- 工場内の空気をキレイに保ち、従業員の健康を保つ

- 環境基準に適合した排水処理
- 99%リサイクルの原材料（鉛）を使用
- 工場内原材料ロス率はほぼ0%を達成

多角化事業

- 漁場の創出による日本の漁業の下支え

- 海洋資源（魚、海藻）の保護育成

人材育成

- 女性管理職登用への取組み
- 女性営業員増員への取組み
- 研修制度の充実
- 自己啓発の推進
- 働き方改革への取組み

ガバナンス・リスクマネジメント

- 取締役の多様性（社外2人(弁護士)、女性取締役1名）
- B C P 計画策定
- コンプライアンス委員会の設置

技術開発力

- 業界をリードする総合実験施設を保有
- 安全・安心を提供する製品の開発
- 自動車関連製品事業における技術開発

ESG マネジメント

生み出される価値

- 豊かで安全な社会
- 災害予防による安心
- 建設作業員の労働改善
- 省力化による産業の効率化
- 環境保全
 - CO2の削減
 - 海洋資源の保護
- 就業環境の改善
- 多様性への対応
- 女性の活躍推進

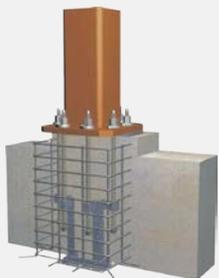
貢献できるSDGs



建設関連製品事業における貢献

社会への貢献

ベースパック、プレスターZ等の耐震製品により災害から人命を守る。



パンチングフォームやクラウンパイルアンカー等の省力化工法の提供による人手不足解消。



■ 省力化工法 → ■ 工期短縮 → ■ 人手不足解消 および ■ 二酸化炭素量の削減等の環境対策

環境への貢献

フリーフレーム工法による緑化・土砂崩れ対策。



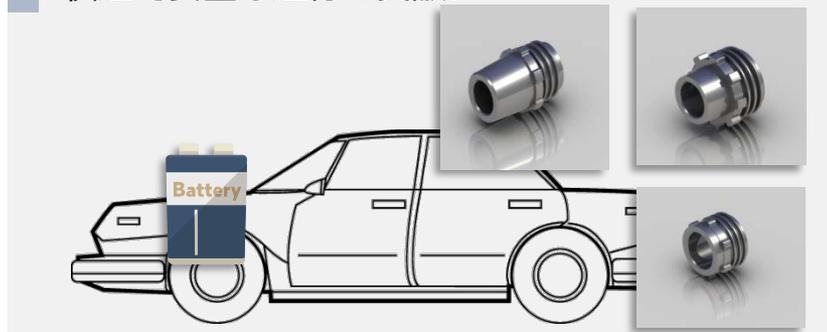
工期短縮による二酸化炭素排出量の削減。



自動車関連製品事業における貢献

社会への貢献

高品質なバッテリー端子の提供を通じ、車の快適で安全な運行に貢献。

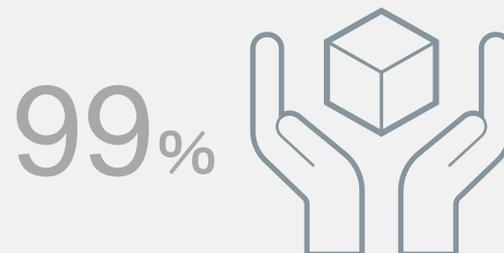


生産工場の衛生環境（空気等）について法令を遵守し、従業員の健康を維持。



環境への貢献

原材料の99%はリサイクルの鉛を使用し、工場内ロス率もほぼ0%を実現。



業界をリードする環境対策設備を完備し、製造に係る排水、排気について法令を遵守。



多角化事業における貢献

社会への貢献

魚礁により魚を集め、効率的な漁業をアシスト。



環境配慮への貢献

海藻を育てる藻場礁により二酸化炭素削減に貢献。



魚を育てる魚礁により、海洋資源を保護し、将来にわたり漁業を支える。



人材に関する取組み

人材

中期経営計画にて人材への考えを明記し、推進中

多様な人材獲得・育成、ならびに社員にとって働きやすい職場環境整備などを行います。

(中期経営計画より、一部抜粋)

中期経営計画 2017-2019
NEXT100
-Exciting Future-

働き方改革に向けた3つの施策

- 1 業務の細知し・負荷分散の推進
※ 業務平準化と1/8会議の導入・推進を推進
※ 業務負荷を1人1人集中させない
- 2 NO MORE 自主残業
※ 残業は上司の指示で行うもの
※ 残業削減は上司の義務
- 3 1/8会議の実施
※ 時間・人数・資料を1/2にして効率化
(1/2x 1/2x 1/2=1/8)

「取るう!」
有給休暇
月1日以上取得!

岡部もやります。

「帰ろう!」
ノー残業デーの
定時退社

従業員のための

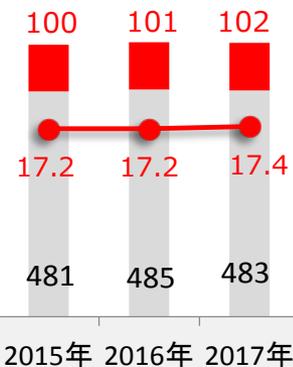
「働き方改革」推進中!



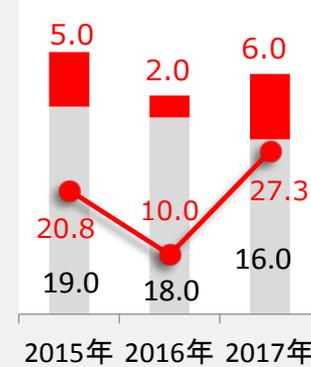
女性活躍の推進

■ 女性 (名)
■ 男性 (名)
● 女性比率 (%)

正社員人数 (岡部単体)



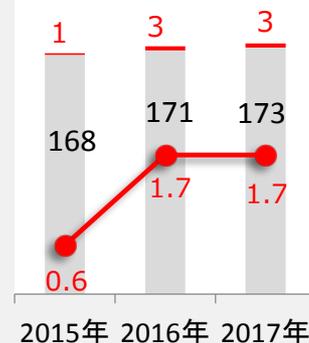
新卒採用に占める女性人数



平均勤続年数 (正社員)

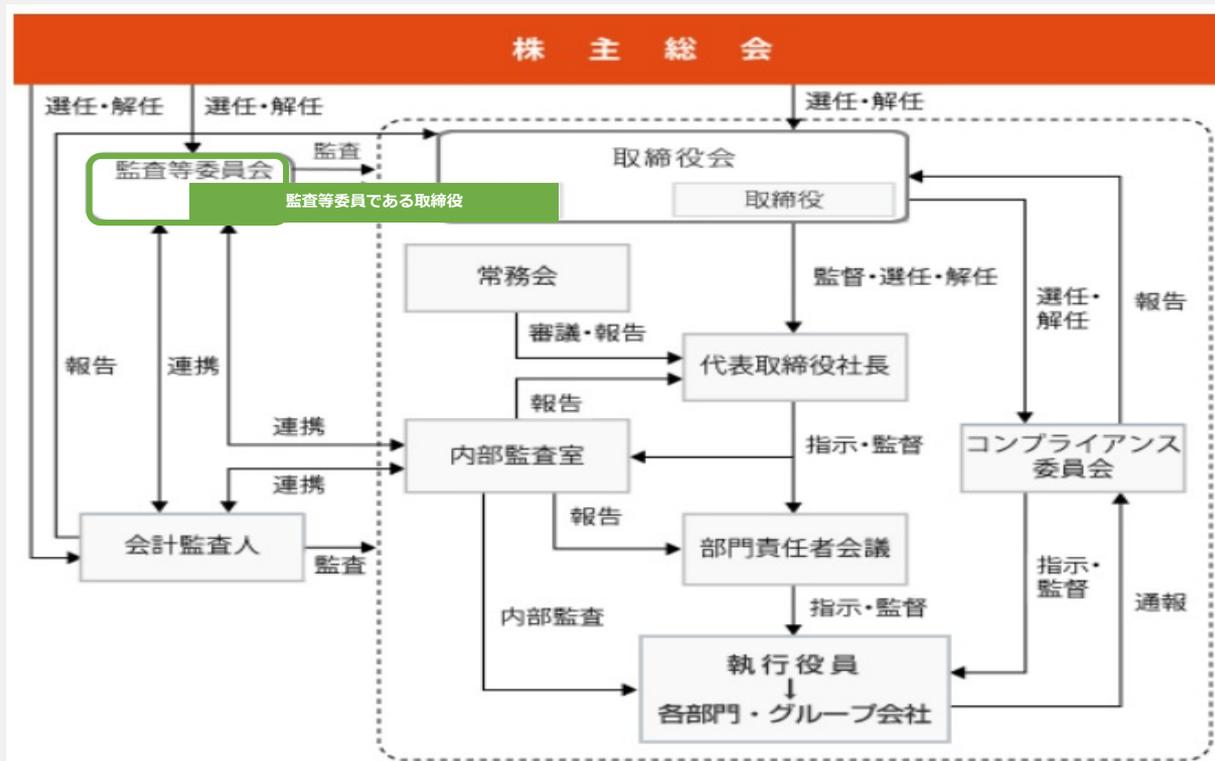


管理職人数



ガバナンスに関する取組み

コーポレートガバナンス



- 取締役会の実行性評価を行い、活性化に取り組む
- コンプライアンス委員会の設置

各ESG項目に関する考えと取組みの総括

| 内容 | | 岡部の考えと取組み |
|-------|----------------|---|
| 社 会 | 人的資源 | <ul style="list-style-type: none"> ・社是である 「人材の育成に努力し、企業の永遠の発展を期すること。」 「社員にとってその一生を託して、悔いることのない職場たること。」 を基本方針とし、人材の育成、働きやすい職場環境づくりを推進しています。 |
| | 製品サービスの安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全性の高い製品の製造、品質管理の徹底を行い、「安全・安心の提供を通じて、社会に貢献する」という経営理念を実践しております。 ・[適正な購買方針] 優越的地位を利用し、不当な取引を行うことなく、公正性と透明性を確保した適正な購買方針を策定しています。 |
| | ステークホルダーマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートガバナンス・コードに則り、資本効率を高めることにより、企業価値の向上に努めております。 |
| 環 境 | 地球温暖化 | <ul style="list-style-type: none"> ・建設関連製品事業において、省力化製品の提供により、二酸化炭素排出量削減に貢献しております。 ・海洋事業において海藻を育てる魚礁により二酸化炭素削減に貢献しております。 |
| | 自然環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連製品事業において、業界をリードする環境設備により、法令を遵守した排水を行っております。 |
| | 廃棄物管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・建設関連製品事業において、製造過程で発生した鉄くずなどの廃棄物は、スクラップ処理等、適正に廃棄しております。 ・自動車関連製品事業において、原材料の99%はリサイクルの鉛を使用しております。さらに、原材料のロス率ほぼ0%を達成し、廃棄物の削減に貢献しております。 |
| | 環境市場機会 | <ul style="list-style-type: none"> ・フリーフレーム工法の提供により、環境緑化に貢献しております。 ・海洋事業において海藻を育てる魚礁により、海中の緑化に貢献しております。 |
| ガバナンス | コーポレートガバナンス | <ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役を2名選任し、監査等委員会を設置するなど、取締役会の実効性向上に努めております。 |
| | 企業行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・社員行動規範・コンプライアンス規程を全社員に配布・周知することで、内部統制を図り、公正な競争、粉飾決算の防止など、高い倫理観を持った企業行動を推進しております。 |

今後のESGへの考え

ESGに関する取組みを積極的に推進し、
持続可能な社会に貢献することで、社会とともに成長を
目指してまいります。



参考資料

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

2018年度通期セグメント別・製品別売上高予想

(単位：百万円)

| | | 2017 実績 | 2018 予想 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|----------|------------|------------|-------|-------|
| 製品別 | 仮設・型枠製品 | 7,013 | 7,137 | 124 | 1.8% |
| | 土木製品 | 6,073 | 5,884 | △188 | △3.1% |
| | 構造機材製品 | 19,751 | 21,051 | 1,300 | 6.6% |
| | 建材商品 | 12,651 | 12,308 | △342 | △2.7% |
| | 建材商品（海外） | 4,915 | 5,398 | 483 | 9.8% |
| 建設関連製品事業 | | 50,404 | 51,780 | 1,375 | 2.7% |
| 自動車関連製品事業 | | 9,370 | 9,921 | 550 | 5.9% |
| 多角化事業 | | 1,142 | 1,298 | 155 | 13.6% |
| 合計 | | 60,917 | 63,000 | 2,082 | 3.4% |

2018年度通期セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)

| | 2017 実績 | 2018 予想 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|------------|------------|-----|--------|
| 建設関連製品事業 | 4,105 | 4,603 | 498 | 12.1% |
| 自動車関連製品事業 | 761 | 673 | △87 | △11.5% |
| 多角化事業 | △22 | 21 | 44 | —% |
| 合計 | 4,844 | 5,300 | 454 | 9.4% |

為替による影響

※期中平均レートを使用しております。

| | 2017 2Q実績 | 2018 2Q実績 | 増減額 |
|-----|--------------|--------------|--------|
| 米ドル | 110.50円 | 109.64円 | △0.86円 |

約6千万円の減収、約4百万円の減益要因

| | 2017 通期実績 | 2018 通期予想 | 増減額 |
|-----|--------------|--------------|--------|
| 米ドル | 110.28円 | 110.00円 | △0.28円 |

約4千万円の減収、約3百万円の減益要因